Roland

Adobe® PostScript® 3™

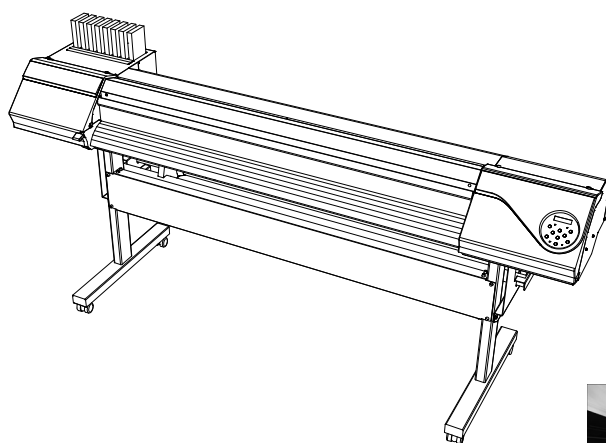
VS-640 VS-420
VS-540 VS-300

特色インクガイド
（メタリックシルバー＆ホワイト）

メタリックシルバーインク、ホワイトインクをお使いの場合は、必ずお読みください。

本書では、VS-640/540/420/300 で使用する特色インク（ホワイトインク、メタリックシルバーインク）の特性、注意事項、メンテナンス、およびそれらのインクを使った印刷方法について説明しています。その他のことがらについては、VS-640/540/420/300 の『セットアップガイド』および『ユーザーズマニュアル』をご覧ください。

Roland VersaWorks
RIP & PRINT MANAGEMENT SOFTWARE

Roland DG Corporation

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

○ 本製品を、正しく安全にご使用いただくため、また性能を十分理解していただくために、この取扱説明書を必ずお読みいただき、大切に保管してください。
○ 本書の内容の一部または全部を、無断で複写・複製することはできません。
○ 本製品の仕様ならびに本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
○ 本製品および本書の内容について、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、当社あてにご連絡ください。
○ 本製品の故障の有無にかかわらず、本製品をお使いいただいたことによって生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
○ 本製品により作られた製作物に対して生じた、直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

目次

第 1 章
はじめに

1-1　本書の前提と関連マニュアル

本書の前提

本書に掲載されている説明や操作手順は、次の作業がすべて完了していることを前提としています。
○ VS-640/540/420/300（以下「本機」）の組み立てや設置など、本機のハードウェア的なセットアップ
○ Roland VersaWorks のコンピュータへのインストール、本機とコンピュータの接続などのソフトウェア的なセットアップ

関連マニュアルについて

本書をお読みになる前に以下の取扱説明書をお読みになり、必要なセットアップを済ませておいてください。

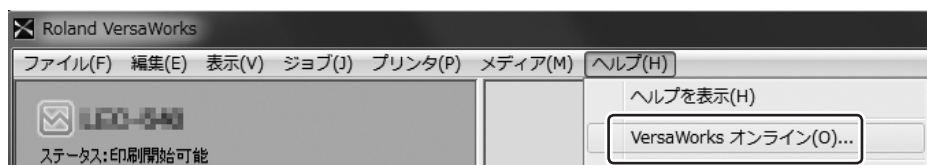
①「セットアップガイド」
本機を使えるようにするための準備や、守っていただきたい設置場所の条件について説明されています。必ずお読みください。

②「ユーザーズマニュアル」
詳しい操作方法について説明されています。①に引き続き、必ずお読みください。

③「Roland VersaWorks　クイックスタートガイド」
第１章「VersaWorks の設定」には、ソフトウェアのインストール方法など、VersaWorks を使って印刷ができるまでの手順が説明されています。②に引き続き、必ずお読みください。
また、第２章「VersaWorks 入門」もお読みになり、VersaWorks の基本操作に習熟しておくことをお勧めします。

VersaWorks オンラインについて

本書では、メタリックシルバーインクとホワイトインクを使用するための注意事項や基本的な印刷方法を説明しています。より複雑な設定が必要な印刷方法や Roland VersaWorks の最新情報は、VersaWorks オンラインでご覧いただくことができます。メタリックシルバーインクやホワイトインクをより効果的に使用したい、または Roland VersaWorks の機能をもっと知りたいという場合は、ぜひ VersaWorks オンラインを訪れてください。
URL：http://www.rolanddg.co.jp/support/color/rvw/index.html

メインメニューから、[ヘルプ] - [VersaWorks オンライン] をクリックして表示することもできます。

1-2　作業を始める前に

重要：インクの特性と注意事項

ホワイトインクおよびメタリックシルバーインクの取り扱いには、他の色のインクにはない大切なご注意があります。インクの特性を必ずご理解いただいたうえでお使いください。

ホワイトインク、メタリックシルバーインクは沈殿します

○放置すると沈殿した成分が固まり、プリントヘッドが目詰まりするなどの故障につながります。必ずこの説明書のご注意をお守りください。

メンテナンスが必要です

○メイン電源は常にオンにしておいてください。メイン電源をオフにすると自動メンテナンス機能が働かなくなり、故障の原因になります。
○１週間に一度はプリンタを動かすことをお勧めします。
○長期間使用しないと、インクが沈殿して吐出が不安定になる場合（ドット抜けなど）があります。そのような場合には、沈殿して固まったインクを排出する必要があります。

☞ P. 52「ドット抜けなどがどうしても直らない場合は」

インクの乾燥について

○出力後、インクは十分乾燥させてください。特にホワイトインクやメタリックシルバーインクは高濃度で印刷する必要があるため、CMYKLcLm インクより乾きにくいのでご注意ください。

ラミネート加工を強くおすすめします

○メタリックシルバーインクおよびホワイトインクの耐候性は、条件によっては CMYKLcLm インクより劣ることがありますので、ラミネート加工することを強くおすすめします。

その日の作業を始める前に

○ホワイトおよびメタリックシルバーインクカートリッジだけをいったん抜き、軽く振ってから再び差し込んでください。
○シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、ライトシアン、ライトマゼンタのインクカートリッジは、毎回振る必要はありませんが、新品を取り付けるときには振ってください。

ホワイトインクおよびメタリックシルバーインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、上記を必ず行ってください。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。

1-3　印刷時のご注意とヒント

プリント＆カット時のミドルピンチローラの使用について

メタリックシルバーインクやホワイトインクは乾きにくいため、プリント＆カットを行うと、ミドルピンチローラが印刷面を汚します。メタリックシルバーインクやホワイトインクを使用してプリント＆カットを行うときは、左右２つのピンチローラでメディアを固定してください。ただし、使用するメディアによっては、メディアが浮き上がったり、印刷、搬送、カット品質などに影響が出たりする場合があります。お使いのメディアを確認したうえで使用してください。

透明なメディアを使用する場合のご注意

透明なメディアの取り付け

○〔エッジ　ケンシュツ〕メニューを「ムコウ」に設定してください。この設定をしないと、透明なメディアはセットアップできません。

○メディアの前端から出力開始位置までの余白を 75mm 以上とってください。

メディアの残量に注意すること

○透明なメディアの場合、メディアの有無は検出されません。メディアがなくなっても印刷動作が止まらず、プラテンなどをインクで汚したり、インクが内部に入って機器を傷めたりする恐れがあります。印刷の途中でメディアがなくなったら、直ちに［PAUSE］を押して印刷を中断してください。

ミドルピンチローラの使用について

○ミドルピンチローラはメディアを多少傷つけますが、透明なメディアではこの傷が目立ちやすくなります。また、印刷後に透明なメディアを引き戻すと、ミドルピンチローラが印刷面を汚します。透明なメディアを使用するときは、左右２つのピンチローラでメディアを固定してください。ただし、使用するメディアによっては、メディアが浮き上がったり、印刷、搬送、カット品質などに影響が出たりする場合があります。お使いのメディアを確認したうえで使用してください。

クロップマークの自動読み取りについて

○透明なメディアでは、クロップマークの自動読み取りはできません。 この場合は、手動で位置合わせをしてください。

☞「ユーザーズマニュアル」

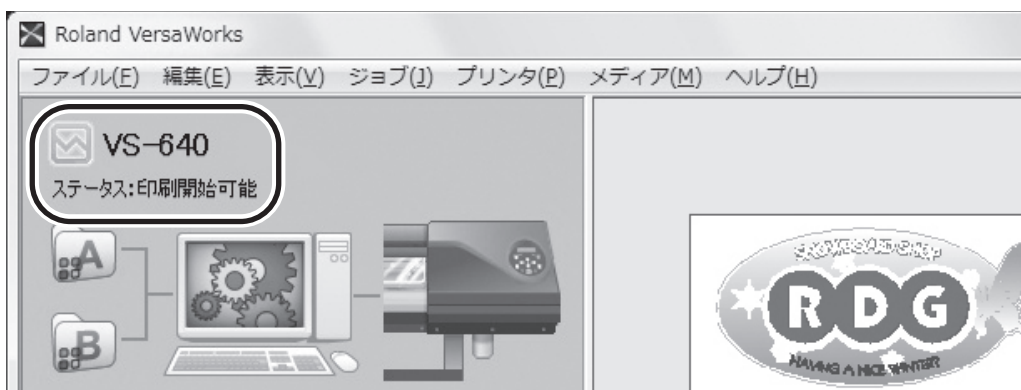
メディア巻取装置を使用する場合のご注意

メタリックシルバーインクやホワイトインクは乾きにくいため、メディア巻取装置（オプション）を使用すると、メディアの種類によってはメディアや印刷面が汚れます。また、ミドルピンチローラを外した状態でメディア巻取装置を使用すると、メディアの種類によってはうまく巻き取れなかったりメディアが浮き上がったりするほか、印刷、搬送、カット品質に影響が出る場合があります。お使いのメディアとの相性をご確認のうえ、メディア巻取装置を使用してください。

第 2 章
準備編

2-1　VersaWorks の準備

VersaWorks を起動する

お使いのコンピュータで VersaWorks を起動します。起動方法は、「Roland VersaWorks クイックスタートガイド」を参照してください。起動したら、メイン画面左上に「お使いのプリンタの機種名（またはニックネーム）」が表示され、"ステータス" が「印刷開始可能」になっていることを確認してください。

PS ファイルの出力用フォルダを作成する

本書で説明する印刷操作では、Adobe Illustrator などのアプリケーションソフトから印刷用のデータを PS ファイルとして出力し、PS ファイルを使って実際の印刷を実行します。このため、PS ファイルの出力先となるフォルダをあらかじめ作成しておくと便利です。PS ファイルの出力先フォルダは、ローカルディスクのルートディレクトリに作成することをおすすめします。

手順

❶ 「コンピュータ」（または「マイコンピュータ」）を開き、続いて「ローカルディスク（C：）」アイコンを開く。

❷ メニューから「整理」→「新しいフォルダ」（または「ファイル」→「新規作成」→「フォルダ」）を選択する。

❸ 作成された新規フォルダに名前を入力し、Enter キーを押す。
例：「MT-WH_print」

2-2　プリンタの準備

プリンタの設定とメディアのセット

透明フィルムを使用する場合

透明フィルムを使用する場合、プリンタ本体側で印刷に必要な設定とメディアのセットを行います。

手順

❶ **本体メニューで次の設定を行う。**
〔エッジ　ケンシュツ〕を「ムコウ」にする。

❷ **プリンタにメディア（透明フィルムまたは透明フィルム糊付）をセットする。**
※メディアが反ったり浮き上がったりするときは、メディアの前端から出力開始位置までの余白を 200 mm 程度とってください。
※メディアクランプを使用してください。

透明フィルム以外のメディアを使用する場合

「ユーザーズマニュアル」に記載されている方法でメディアをセットしてください。

2-3　印刷データの作成

印刷データ作成の考え方

メタリックシルバーインクとホワイトインクを使った印刷では、スポットカラーを使って印刷データを作成します。

メタリックシルバーインクを使用する場合

メタリックシルバーインクを使った印刷では、次の 2 つの方法で印刷データを作成できます。

○ **メタリックシルバーインクのみを使用するようにスポットカラーを指定する。**

「RDG_MetallicSilver」という名前のスポットカラーを、メタリックシルバーインクで印刷したい部分に指定します。

○ **専用のメタリックカラー特色ライブラリでスポットカラーを指定する。**

専用のメタリックカラー特色ライブラリから、CMYKLcLm インクとメタリックシルバーインクを配合した特色メタリックカラー（スポットカラー）を選択して使用します。

ホワイトインクを使用する場合

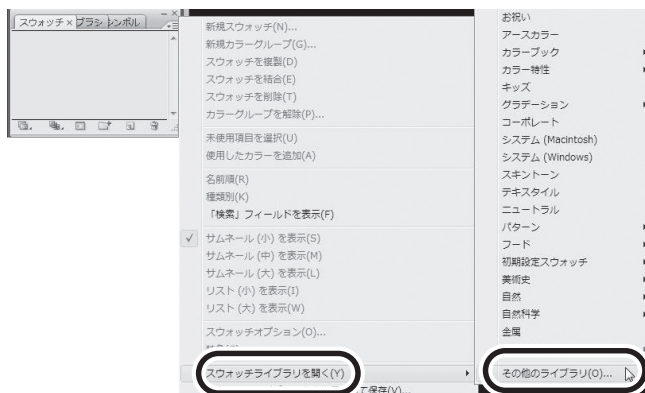
「RDG_WHITE」という名前のスポットカラーを、ホワイトインクで印刷したい部分に指定します。

印刷データを作成する

メタリックシルバーインクやホワイトインクを使用して印刷するためのデータを作成します。
ここでは、印刷データを作成するアプリケーションは Adobe Illustrator CS3 を使用します。描画の方法や各パレットの扱い方などの詳細は、Adobe Illustrator CS3 の取扱説明書またはオンラインヘルプ等をご覧ください。バージョンの異なる Adobe Illustrator をご使用の場合は、以下の説明とは一部の操作が異なります。

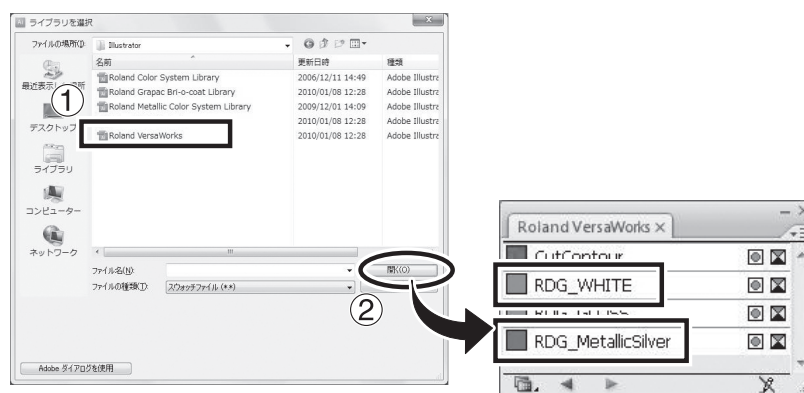
1. 専用のスウォッチライブラリを開く。

❶ **スウォッチパレットのメニューから〔スウォッチライブラリを開く〕→〔その他のライブラリ〕をクリックする。**

「ライブラリを選択」画面が表示されます。
※スウォッチパレットは、メニューから〔ウィンドウ〕→〔スウォッチ〕を選択すると表示されます。

❷ ①「コンピュータ」（または「マイコンピュータ」）→「ローカルディスク (C:)」→「Program Files」→「Roland VersaWorks」→「Swatch」→「Illustrator」の順にフォルダを開き、「Roland VersaWorks.ai」を選択する。

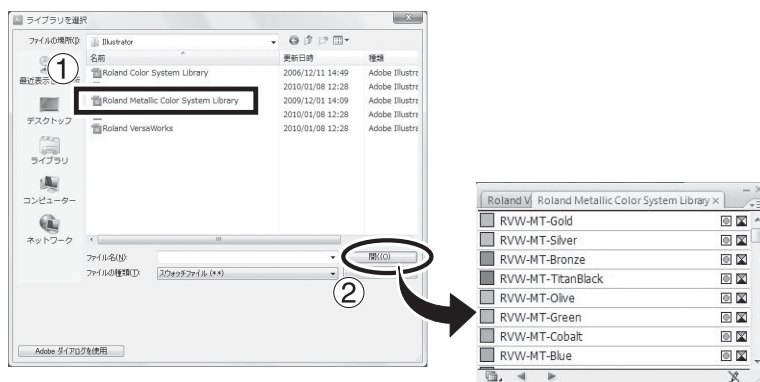
お使いのコンピュータの設定によっては「.ai」が表示されていないことがあります。

②［開く］をクリックする。

「RDG_MetallicSilver」と「RDG_WHITE」が入ったスウォッチライブラリが開きます。

❸ ①手順 ❷ と同じフォルダを開き、「Roland Metallic Color System Library.ai」を選択する。

お使いのコンピュータの設定によっては「.ai」が表示されていないことがあります。

②［開く］をクリックする。

メタリックシルバーインクと CMYKLcLm インクを配合した“メタリックカラー”が入ったスウォッチライブラリが開きます。

Tips!

手順 ❷ ❸ で選択した「.ai」ファイルを下記のフォルダに保存すれば、Adobe Illustrator のライブラリにそれぞれのスウォッチライブラリを登録できます。

C:¥Program Files¥Adobe¥Adobe Illustrator CS3¥ プリセット ¥ スウォッチ

（「C」はお使いのコンピュータのローカルディスク）

登録すると、Adobe Illustrator を起動するたびにファイルを探す必要がなくなり、スウォッチパレットメニューから直接ライブラリを開けるようになります。

2. イラストを作成し、印刷したい色に合わせてスポットカラーを指定する。

❶ イラストを作成する。

イラストの描画は、必ず CMYK モードで行ってください。

❷ 印刷したい色に合わせてそれぞれのスポットカラーを指定する。

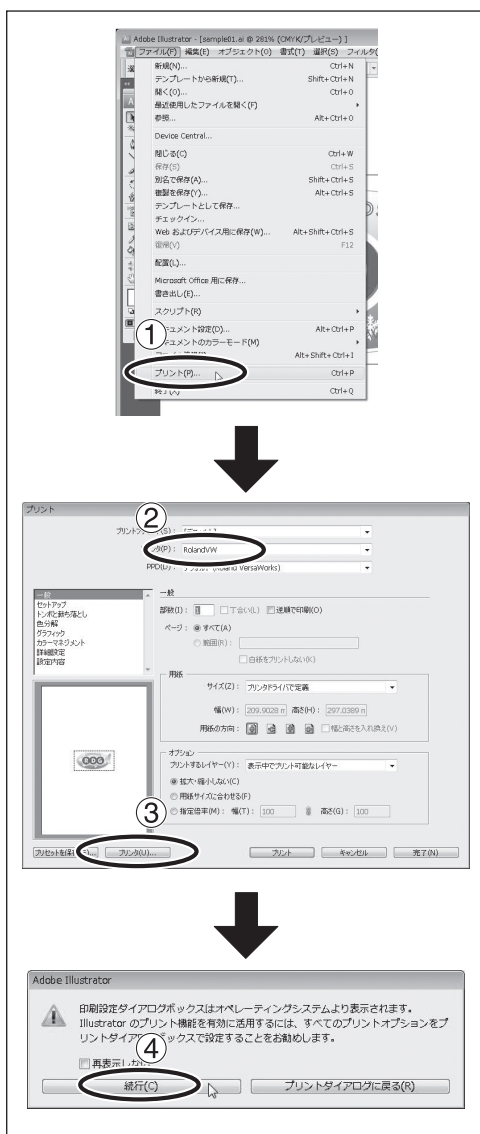
使用したいインクまたはカラー	スポットカラー名
メタリックシルバーインク	RDG_MetallicSilver
ホワイトインク	RDG_WHITE
メタリックカラー	RVW-MT-Silver、RVW-MT-Bronze、RVW-MT-TitanBlack など

POINT!

メタリックシルバーインクを使う場合、CMYKLcLm インクとの掛け合わせによるブレンド印刷とレイヤー印刷ができます。

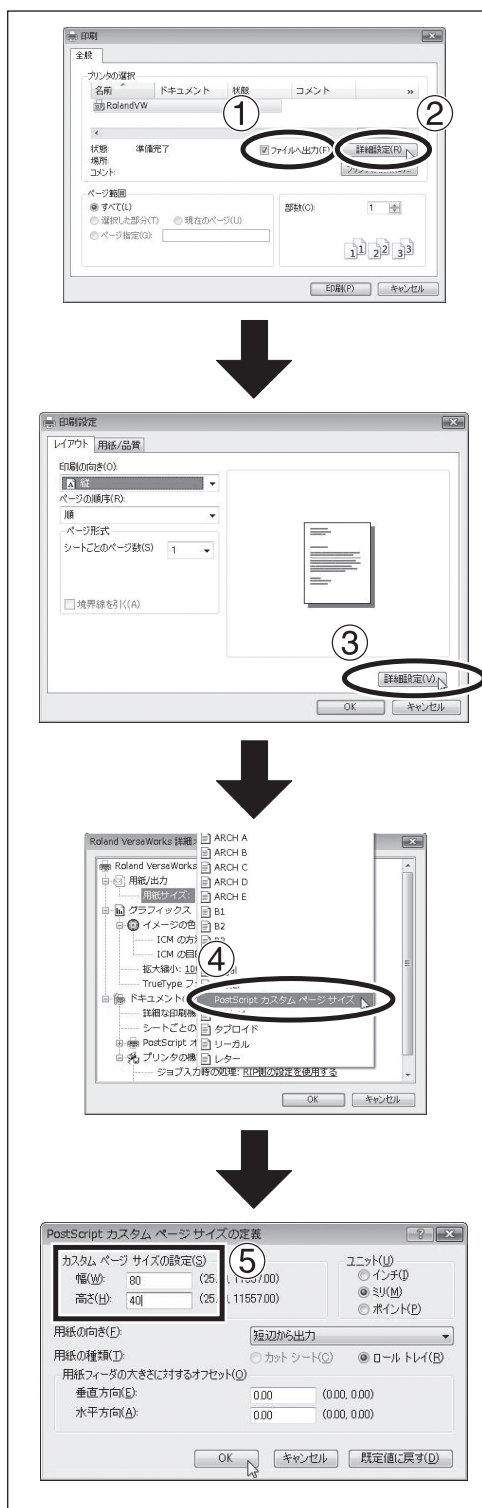
☞ P. 18「ブレンド印刷とレイヤー印刷（メタリックシルバーと CMYKLcLm）」

3. PS ファイルを作成する。

❶

①メニューから「ファイル」→「プリント」を選択する。

②「Roland VW」を選択する。
ニックネームを設定している場合、もしくは、複数のプリンタを接続している場合は、「Roland VW_(出力したいプリンタのニックネーム)」を選択します。

③［プリンタ］をクリックする。

④［続行］をクリックする。

❷

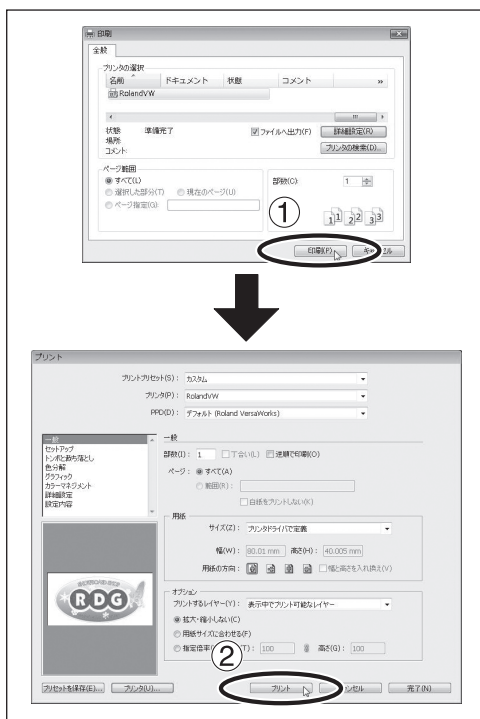
①「ファイルへ出力」にチェックを付ける。

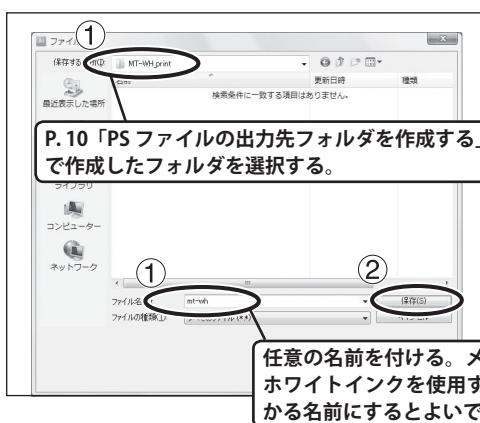
②［詳細設定］をクリックする。

③「レイアウト」タブ内の［詳細設定］をクリックする。
Windows 2000 の場合：「印刷」ダイアログ（このページの一番上の画面）の「レイアウト」タブで［詳細設定］をクリックする。

④「用紙サイズ」として「PostScript カスタムページサイズ」を選択する。

⑤「カスタムページサイズの設定」に「幅」と「高さ」を入力する。
手順 *2.* で作成したイラストと同サイズの数値を入力してください。

❸ ［OK］を 3 回クリックして、「PostScript カスタムページサイズの定義」、「Roland VersaWorks 詳細オプション」、「印刷設定」の各ダイアログを閉じる。
「印刷」ダイアログに戻ります。

❹ ①［印刷］をクリックする。

②［プリント］をクリックする。

❺ ①保存先とファイル名を指定して、ファイルを保存する。
例：保存先フォルダ「C:¥MT-WH_print」、ファイル名「mt-wh.ps」

②［保存］をクリックする。
指定したフォルダに PS ファイルが作成されます。

P. 10「PS ファイルの出力先フォルダを作成する」で作成したフォルダを選択する。

任意の名前を付ける。メタリックシルバーインクやホワイトインクを使用するファイルであることがわかる名前にするとよいでしょう。

❻ 保存先のフォルダを開いて、ファイルが生成されていることを確認する。

ブレンド印刷とレイヤー印刷（メタリックシルバーと CMYKLcLm）

メタリックシルバーインクを使う場合、CMYKLcLm インクとの掛け合わせによるブレンド印刷とレイヤー印刷ができます。これらの印刷方法によって、CMYKLcLm だけではできないメタリックな表現ができます。ブレンド印刷とレイヤー印刷では印刷方法が異なり、CMYKLcLm のメタリック感も異なります。お好みに合わせて使い分けてください。

☞ P. 24「ブレンド印刷（メタリックシルバー＋CMYKLcLm）」、P. 26「レイヤー印刷（メタリックシルバー ⇨ CMYKLcLm）」、P. 28「レイヤー印刷（CMYKLcLm ⇨ メタリックシルバー）」

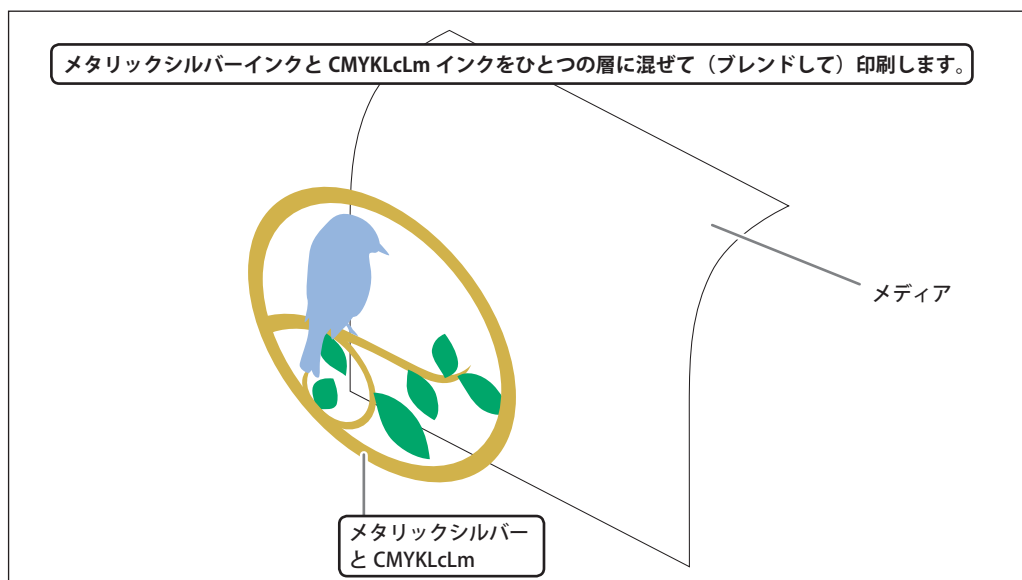
※「ホワイトとメタリックシルバーと CMYK で印刷する」（P. 32）場合は、ブレンド印刷に固定されます。

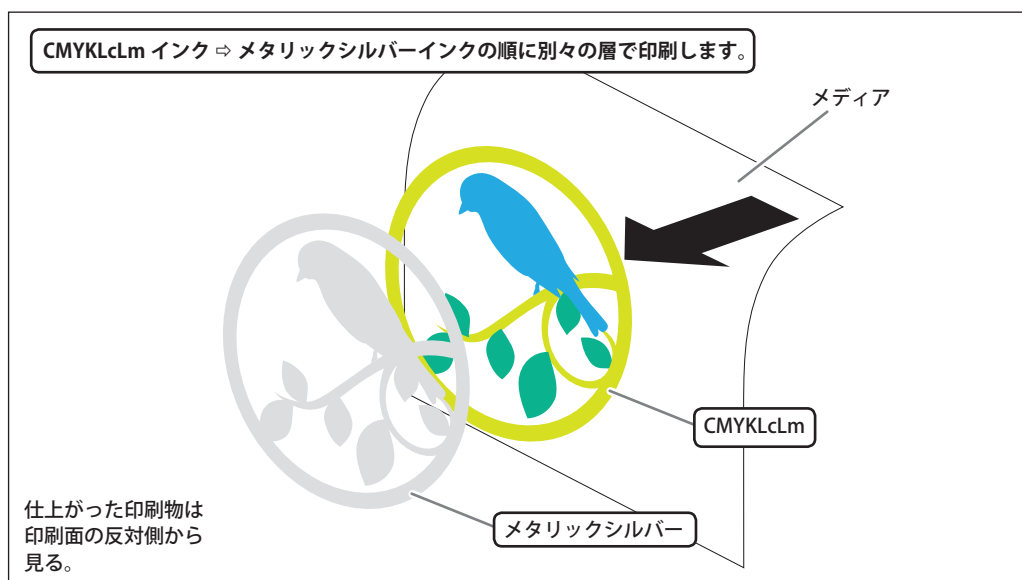
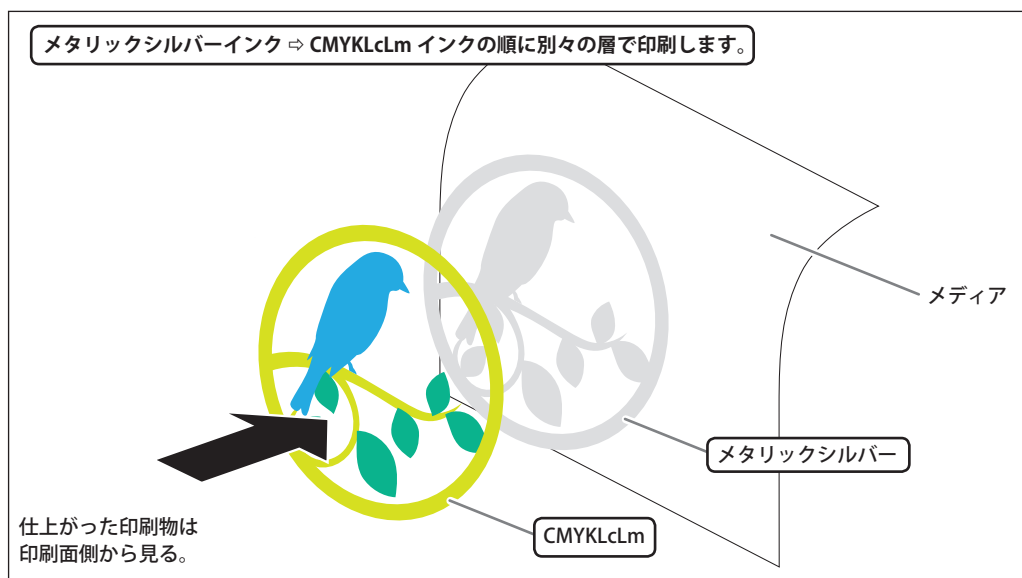
POINT!

ブレンド印刷とレイヤー印刷では、メタリックカラー特色ライブラリから色を指定することができます。ただし、同じ名前の特色メタリックカラーを指定しても、**ブレンド印刷とレイヤー印刷では色味が異なります**。試し印刷を行ったり、メタリックカラーチャートを印刷したりして、色味の確認をしていただくことをおすすめします。
なお、レイヤー印刷の場合のメタリックカラーチャートでは、色の名前と色味の印象にずれを感じることがある場合があります。これは、メタリックカラーチャートの色の名前はブレンド印刷向けに付けているためです。

☞ P. 38「メタリックカラーチャートを印刷する」

ブレンド印刷

（印刷のイメージ図）

レイヤー印刷

（印刷のイメージ図）

メタリックシルバーインク ⇨ CMYKLcLm インクの順に別々の層で印刷します。

メディア

メタリックシルバー

CMYKLcLm

仕上がった印刷物は
印刷面側から見る。

CMYKLcLm インク ⇨ メタリックシルバーインクの順に別々の層で印刷します。

メディア

CMYKLcLm

メタリックシルバー

仕上がった印刷物は
印刷面の反対側から
見る。

第 3 章
印刷編

3-1　印刷設定

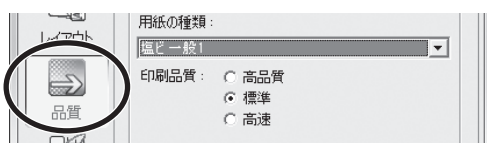
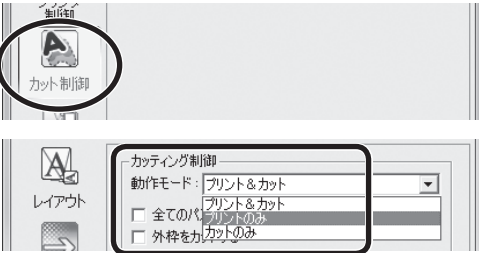
メタリックシルバーのみで印刷する

ここではメタリックシルバーインクのみを使って印刷する方法を説明します。メタリックシルバーインクを使うには、メタリックシルバーインクを使うように色を指定した印刷データを使用する必要があります。印刷データに他の色を指定する部分があっても、ここで説明する設定を行うと、メタリックシルバーインクを使用するように色を指定した部分だけがメタリックシルバーインクで印刷されます。

☞ P. 12「2-3　印刷データの作成」

手順

❶ VersaWorks の準備、プリンタの準備、印刷データの作成（☞ P. 9「第 2 章　準備編」）が完了していることを確認する。

❷ をダブルクリックする。
「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

❸ をクリックする。

[用紙の種類] で「塩ビ一般 1 [MT]」など、[MT] が付いた名称を選択する。
使用するメディアに合わせて選択してください。[MT] 付を選択すると、メタリックシルバーインクを使用できる印刷モードを選択できます。

[印刷品質] で「高品質」を選択する。

[モード] で「MetallicSilver (v)」を選択する。

❹ をクリックする。

[名前付きの特色を変換する] にチェックを入れる。

❺ をクリックする。

[動作モード] でプリンタの動作を選択する。

❻〔OK〕をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 37「印刷を開始する」に進んでください。

※ ここではメタリックシルバーインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

※ 手順 ❸ の [モード] で「CMYKLcLm (v)」を選択すれば、印刷データにて CMYK で指定している部分だけを印刷します。

ブレンド印刷（メタリックシルバー + CMYKLcLm）

ここでは、メタリックシルバーインクと CMYKLcLm インクを使って、ブレンド印刷を行う方法を説明します。

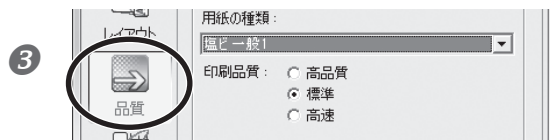
☞ P. 18「ブレンド印刷とレイヤー印刷（メタリックシルバーと CMYKLcLm）」

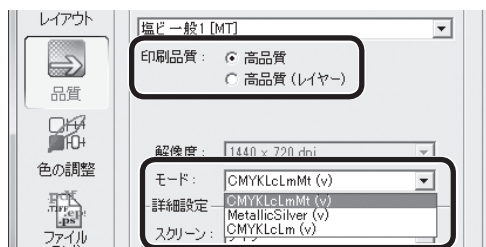
ブレンド印刷を行うには、メタリックシルバーインクと CMYKLcLm インクを使用するように指定した印刷データを使用する必要があります。

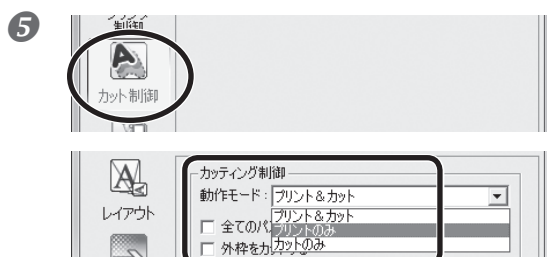
☞ P. 12「2-3　印刷データの作成」

手順

❶ VersaWorks の準備、プリンタの準備、印刷データの作成（☞ P. 9「第 2 章　準備編」）が完了していることを確認する。

❷ をダブルクリックする。
「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

❸ をクリックする。

[用紙の種類] で「塩ビ一般 1 [MT]」など、[MT] が付いた名称を選択する。
使用するメディアに合わせて選択してください。[MT] 付を選択すると、メタリックシルバーインクを使用できる印刷モードを選択できます。

[印刷品質] で「高品質」を選択する。

[モード] で「CMYKLcLmMt (v)」を選択する。

❹

をクリックする。

[名前付きの特色を変換する] にチェックを入れる。

❺

をクリックする。

[動作モード] でプリンタの動作を選択する。

❻

〔OK〕をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 37「印刷を開始する」に進んでください。

※ ここではメタリックシルバーインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

レイヤー印刷（メタリックシルバー ⇨ CMYKLcLm）

ここでは、メタリックシルバーインクと CMYKLcLm インクを使って、メタリックシルバーインクを下地にするレイヤー印刷の説明をします。

☞ P. 18「ブレンド印刷とレイヤー印刷（メタリックシルバーと CMYKLcLm）」

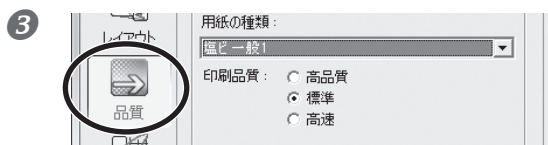
レイヤー印刷を行うには、メタリックシルバーインクと CMYKLcLm インクを使用するように指定した印刷データを使用する必要があります。

☞ P. 12「2-3　印刷データの作成」

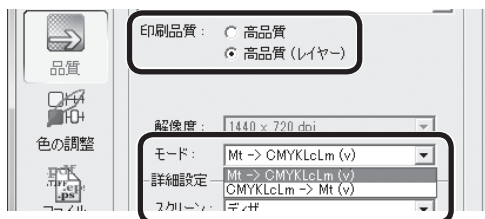
手順

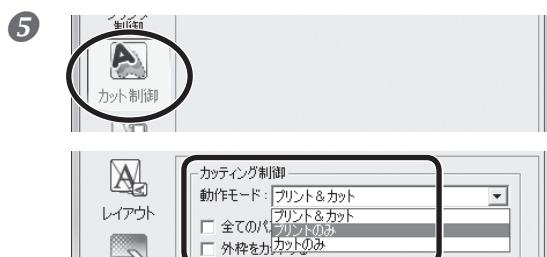
❶ VersaWorks の準備、プリンタの準備、印刷データの作成（☞ P. 9「第 2 章　準備編」）が完了していることを確認する。

❷ をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

❸ をクリックする。

[用紙の種類] で「塩ビ一般 1 [MT]」など、[MT] が付いた名称を選択する。

使用するメディアに合わせて選択してください。[MT] 付を選択すると、メタリックシルバーインクを使用できる印刷モードを選択できます。

[印刷品質] で「高品質 (レイヤー)」を選択する。

[モード] が選択できる場合は、「Mt -> CMYKLcLm (v)」を選択する。

❹ をクリックする。

[名前付きの特色を変換する] にチェックを入れる。

❺ をクリックする。

[動作モード] でプリンタの動作を選択する。

❻ 〔OK〕をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 37「印刷を開始する」に進んでください。

※ ここではメタリックシルバーインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

レイヤー印刷（CMYKLcLm ⇨ メタリックシルバー）

ここでは、メタリックシルバーインクと CMYKLcLm インクを使って、CMYKLcLm インクを下地にするレイヤー印刷の説明をします。

☞ P. 18「ブレンド印刷とレイヤー印刷（メタリックシルバーと CMYKLcLm）」

レイヤー印刷を行うには、メタリックシルバーインクと CMYKLcLm インクを使用するように指定した印刷データを使用する必要があります。

☞ P. 12「2-3　印刷データの作成」

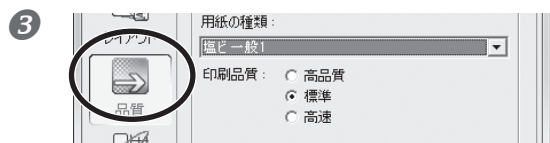
手順

❶ VersaWorks の準備、プリンタの準備、印刷データの作成（☞ P. 9「第 2 章　準備編」）が完了していることを確認する。

❷

［A］をダブルクリックする。

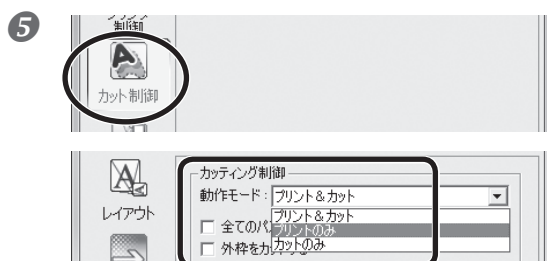
「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

❸

［品質］をクリックする。

[用紙の種類] で「xxx [MT]：透明フィルム」または「xxx [MT]：透明フィルム（糊付）」を選択する。

※ xxx は、「ESP-CL」など

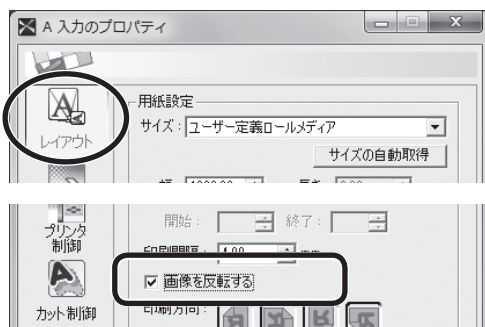
[印刷品質] で「高品質 (レイヤー)」を選択する。

[モード] は、「CMYKLcLm -> Mt (v)」を選択する。

❹ をクリックする。

[名前付きの特色を変換する] にチェックを入れる。

❺ をクリックする。

[動作モード] でプリンタの動作を選択する。

透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合

をクリックする。

[画像を反転する] にチェックを入れる。
はじめから反転した印刷データをつくっている場合は、チェックを入れる必要はありません。

❻ 〔OK〕をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 37「印刷を開始する」に進んでください。

※ ここではメタリックシルバーインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

ホワイトのみで印刷する

ここではホワイトインクのみを使って印刷する方法を説明します。ホワイトインクを使うにはホワイトインクを使うように指定した印刷データを使用する必要があります。印刷データに他の色を指定する部分があっても、ここで説明する設定を行うと、ホワイトインクを使用するように指定した部分だけがホワイトインクで印刷されます。

☞ P. 12「2-3　印刷データの作成」

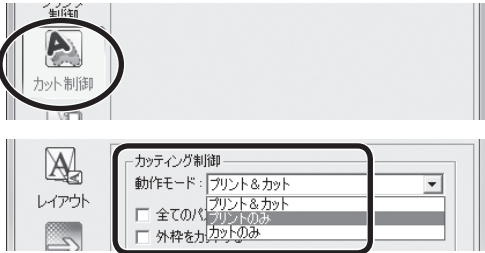
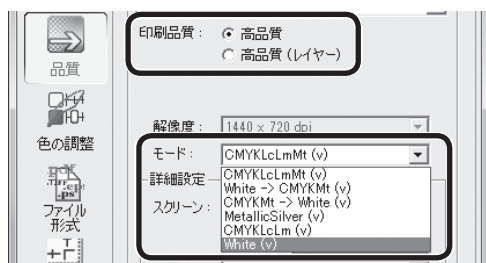
手順

❶ **VersaWorks の準備、プリンタの準備、印刷データの作成（☞ P. 9「第 2 章　準備編」）が完了していることを確認する。**

❷ **をダブルクリックする。**

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

❸ **をクリックする。**

[用紙の種類] で「xxx [MT]：透明フィルム」または「xxx [MT]：透明フィルム（糊付）」（または「xxx：透明フィルム」、「xxx：透明フィルム（糊付）」）を選択する。

※ xxx は、「ESP-CL」など

[印刷品質] で「高品質」を選択する。

[用紙の種類] で「xxx:透明フィルム」または「xxx:透明フィルム（糊付）」を選択している場合、選択する必要はありません（選択肢は「高品質」のみ）。

[モード] で「White (v)」を選択する。

❹ をクリックする。

[名前付きの特色を変換する] にチェックを入れる。

❺ をクリックする。

[動作モード] でプリンタの動作を選択する。

❻ 〔OK〕をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 37「印刷を開始する」に進んでください。

※ ここではホワイトインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

※ 手順 ❸ の [モード] で「CMYKLcLm (v)」を選択すれば、印刷データにて CMYK で指定している部分だけを印刷します。

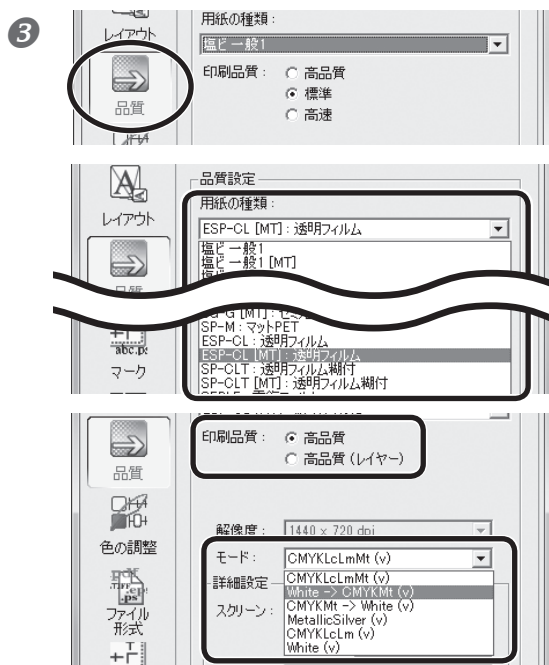
ホワイトとメタリックシルバーと CMYK で印刷する

ここではメタリックシルバーインク、ホワイトインク、CMYK インクを使って印刷する方法を説明します。ホワイトインクとそれ以外のインク（メタリックシルバーと CMYK）のどちらを下地にするか、ということが印刷設定を決めるうえで大切なポイントです。
メタリックシルバーインクとホワイトインクを使うには、それぞれのインクを使用するように指定した印刷データを使用する必要があります。なお、メタリックシルバーインクと CMYK インクを掛け合わせて印刷する部分はブレンド印刷に固定されます。

☞ P. 12「2-3　印刷データの作成」

手順

❶ VersaWorks の準備、プリンタの準備、印刷データの作成（☞ P. 9「第 2 章　準備編」）が完了していることを確認する。

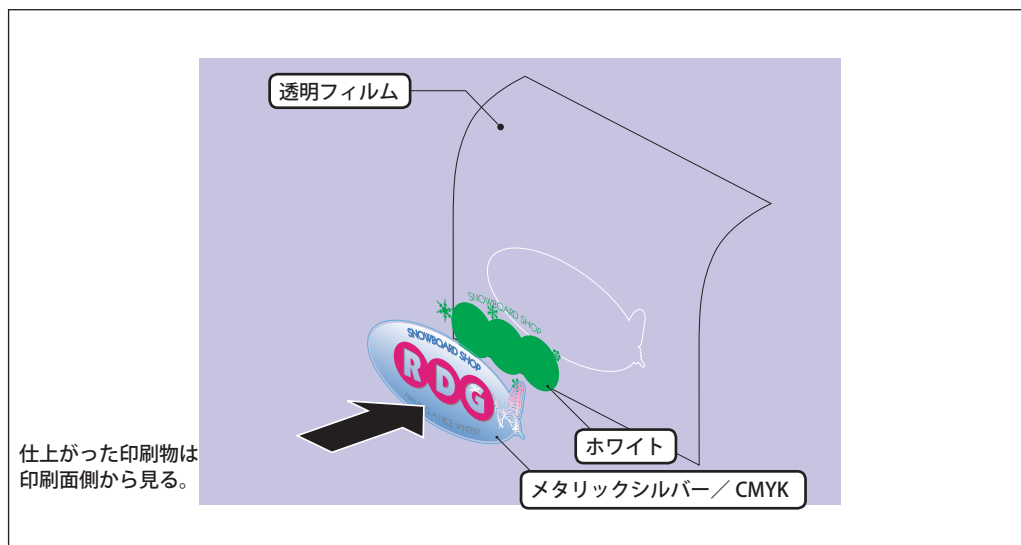
❷ **をダブルクリックする。**
「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

❸ **をクリックする。**

[用紙の種類] で「xxx [MT]：透明フィルム」または「xxx [MT]：透明フィルム（糊付）」を選択する。
※ xxx は、「ESP-CL」など

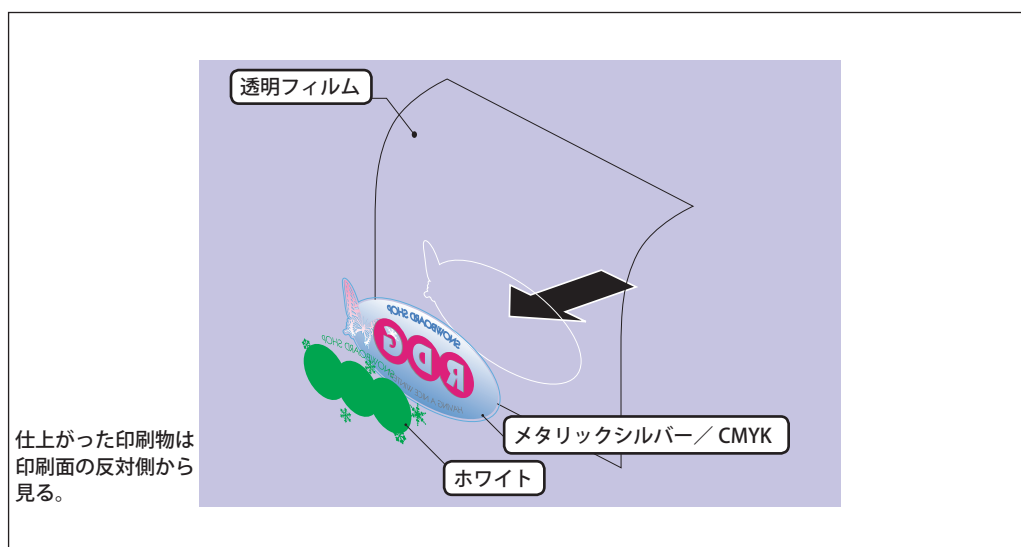
[印刷品質] で「高品質」を選択する。
[モード] で印刷モードを選択する。
White -> CMYKMt (v)
インクがホワイト ⇨ メタリックシルバー／ CMYK の順に重なります。
CMYKMt -> White (v)
インクがメタリックシルバー／ CMYK⇨ ホワイトの順に重なります。

ホワイト ⇨ メタリックシルバー／ CMYK の順にインクを重ねるイメージ図

（印刷モード「White -> CMYKMt (v)」）

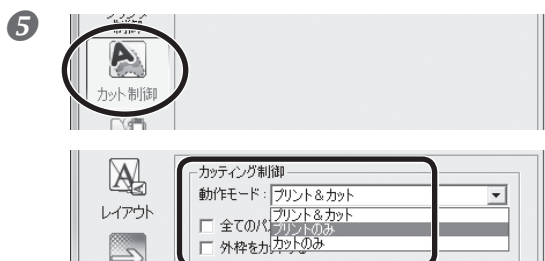
透明フィルム
ホワイト
メタリックシルバー／ CMYK
仕上がった印刷物は
印刷面側から見る。

※ ホワイトとメタリックシルバー /CMYK は一度に印刷されますが、印刷順を示すために別々の層で表現しています。

メタリックシルバー／ CMYK⇨ ホワイトの順にインクを重ねるイメージ図

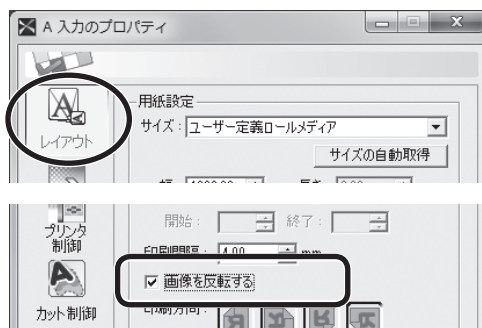
（印刷モード「CMYKMt -> White (v)」）

透明フィルム
メタリックシルバー／ CMYK
ホワイト
仕上がった印刷物は
印刷面の反対側から
見る。

※ ホワイトとメタリックシルバー /CMYK は一度に印刷されますが、印刷順を示すために別々の層で表現しています。

❹ をクリックする。

[名前付きの特色を変換する] にチェックを入れる。

❺ をクリックする。

[動作モード] でプリンタの動作を選択する。

透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合

をクリックする。

[画像を反転する] にチェックを入れる。
はじめから反転した印刷データをつくっている場合は、チェックを入れる必要はありません。

❻ 〔OK〕をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 37「印刷を開始する」に進んでください。

※ ここではメタリックシルバーインクとホワイトインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

ホワイトと CMYKLcLm で印刷する

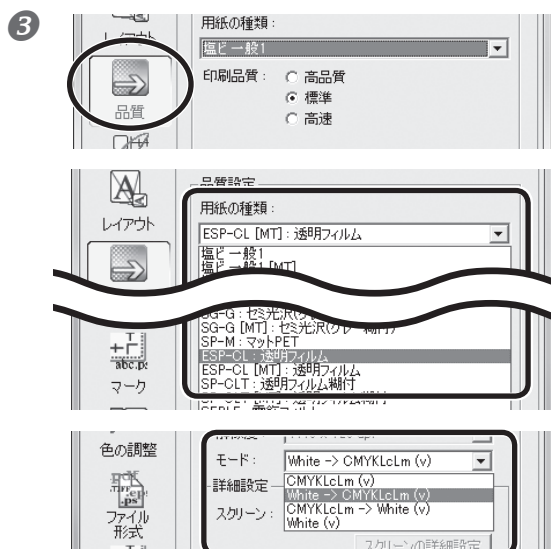
ここではホワイトインクと CMYKLcLm インクを使って印刷する方法を説明します。ホワイトインクと CMYKLcLm インクのどちらを下地にするか、ということが印刷設定を決めるうえで大切なポイントです。なお、ホワイトインクを使うにはホワイトインクを使用するように指定した印刷データを使用する必要があります。

☞ P. 12「2-3　印刷データの作成」

手順

❶ **VersaWorks の準備、プリンタの準備、印刷データの作成（☞ P. 9「第 2 章　準備編」）が完了していることを確認する。**

❷ **をダブルクリックする。**

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

❸ **をクリックする。**

[用紙の種類] で「xxx：透明フィルム」または「xxx：透明フィルム（糊付）」を選択する。

※ xxx は、「ESP-CL」など

[モード] で印刷モードを選択する。

White -> CMYKLcLm (v)

インクがホワイト⇒ CMYKLcLm の順に重なります。

CMYKLcLm -> White (v)

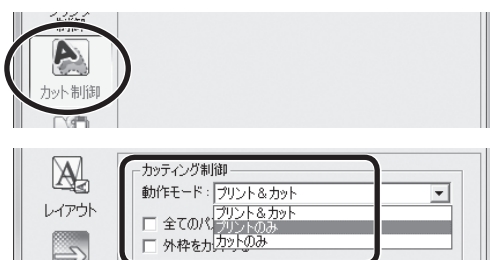
インクが CMYKLcLm ⇒ホワイトの順に重なります。

※ ホワイトと CMYKLcLm のインクを重ねるイメージは P. 33 のホワイトとメタリックシルバー／ CMYK のインクを重ねるイメージ図と同様です（メタリックシルバー／ CMYK が CMYKLcLm になります）。

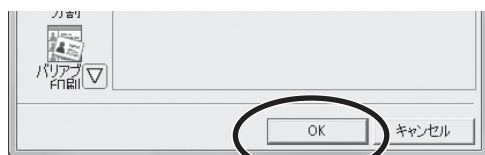
❹

をクリックする。

[名前付きの特色を変換する] にチェックを入れる。

❺

をクリックする。

[動作モード] でプリンタの動作を選択する。

透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合 ☞ **P. 34**

❻

〔OK〕をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 37「印刷を開始する」に進んでください。

※ ここではホワイトインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

3-2　印刷開始

印刷を開始する

印刷設定が完了したら、印刷を開始します。

手順

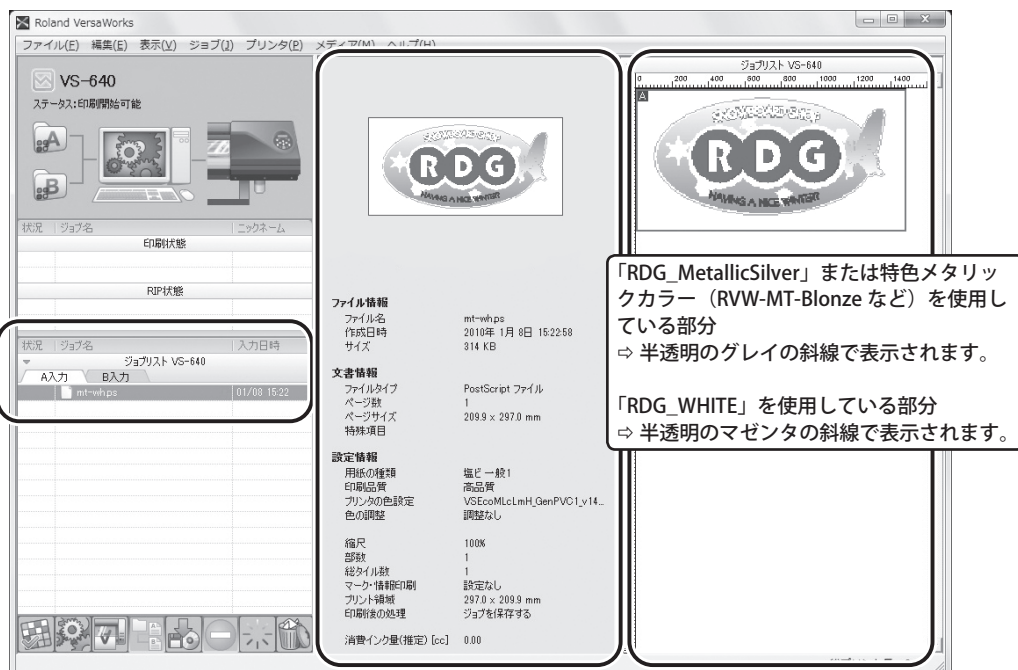
❶ 印刷設定を行う。

☞ P. 22「3-1　印刷設定」

❷ 「ジョブリスト」の「A 入力」タブをクリックし、印刷データを A 入力のジョブリスト（印刷設定を B 入力にて行っている場合は B 入力のジョブリスト）にドラッグ＆ドロップする。

データの内容がプレビューウィンドウに、メディア上でのレイアウトがレイアウトウィンドウに表示されます。

「RDG_MetallicSilver」または特色メタリックカラー（RVW-MT-Blonze など）を使用している部分
⇨ 半透明のグレイの斜線で表示されます。

「RDG_WHITE」を使用している部分
⇨ 半透明のマゼンタの斜線で表示されます。

❸ ジョブリストにある印刷ジョブを選択し、をクリックする。

印刷を開始します。

Tips!

印刷後は、十分に乾燥させてください。また、ラミネート加工することを強くおすすめします。

Tips!

続けて同様の印刷データを印刷する場合は、手順 ❷ ❸ を繰り返してください。また、ジョブごとに細かな設定を変えたい場合は、「ジョブの設定」画面（ジョブリストにある印刷ジョブをダブルクリックすると表示）で行うと便利です。

メタリックカラーチャートを印刷する

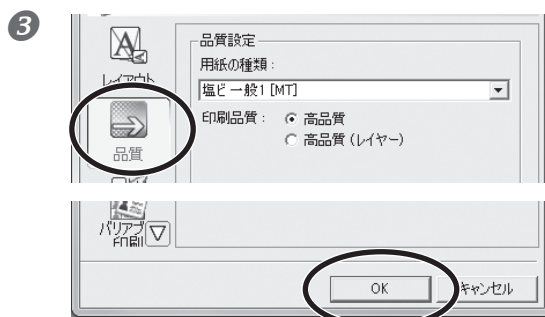
メタリックカラーチャートとは、特色メタリックカラーの印刷見本です。メタリックカラーチャートを印刷することで、「お使いのプリンタ」と「お使いのメディア」で印刷できる特色メタリックカラーそのものが表現された「完全なメタリックカラーチャート」を確認できます（プリンタやメディアのコンディションによるわずかなパターンの差はあります）。このカラーチャートから色を選び、その色でアートワークを作成すれば、意図した色をほぼ正確に再現することができます。

手順

❶ VersaWorks の準備、プリンタの準備（☞ P. 9「第 2 章　準備編」）が完了していることを確認する。

❷ をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

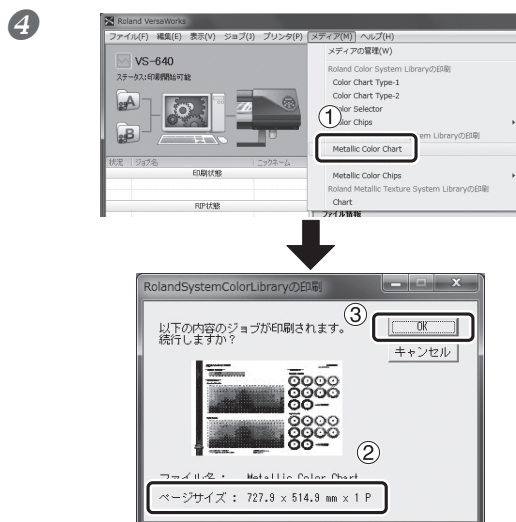
❸

をクリックし、[品質設定] と [カラー設定] を設定する。

☞ P. 22「3-1　印刷設定」

[OK] をクリックする。

POINT!

メタリックカラーチャートの印刷では、［品質］の設定項目は［入力のプロパティ］画面の設定が適用されます。
ジョブリストに追加された後では、［ジョブの設定］画面で設定を変更できませんので、必ず［入力のプロパティ］画面で［品質］の設定を実行してから以下の操作を実行してください。

❹

①［メディア］－［Metallic Color Chart］をクリックする。

②ページサイズを確認する。
ページサイズに対してプリンタにセットされているメディアのサイズが不十分な場合は、十分なサイズのメディアと取り替えてください。

③［OK］をクリックする。
メタリックカラーチャートの印刷ジョブがジョブリストに追加されます。

❺

をクリックする。
印刷を開始します。

第 4 章
詳細編

4-1　テクスチャ印刷

テクスチャ印刷とは

テクスチャ印刷とは、テクスチャパターンを表現する印刷方法です。専用ライブラリのテクスチャパターンを使って印刷データを作成して出力します。本書では、メタリックシルバーインクを使ったテクスチャ印刷の方法を説明します。

※ Adobe Illustrator で印刷データを作成する場合、CS 以降のバージョンで作成してください。Adobe Illustrator 10 より前のバージョンで印刷データを作成すると、テクスチャパターンをうまく印刷できないことがあります。

テクスチャ印刷データを作成する

テクスチャ印刷のための印刷データを作成します。
ここでは、印刷データを作成するアプリケーションは Adobe Illustrator CS4 を使用します。描画の方法や各パレットの扱い方などの詳細は、Adobe Illustrator CS4 の取扱説明書またはオンラインヘルプ等をご覧ください。バージョンの異なる Adobe Illustrator をご使用の場合は、以下の説明とは一部の操作が異なります。

1.　専用ライブラリを開く。

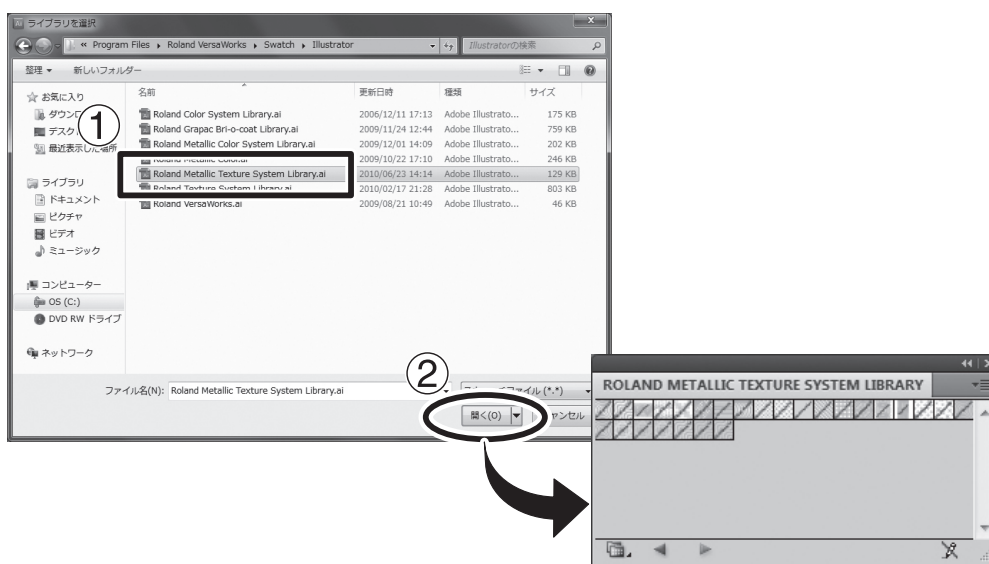
❶ スウォッチパレットのメニューから〔スウォッチライブラリを開く〕→〔その他のライブラリ〕をクリックする。

「ライブラリを選択」画面が表示されます。
※スウォッチパレットは、メニューから〔ウィンドウ〕→〔スウォッチ〕を選択すると表示されます。

❷ ①「コンピュータ」（または「マイコンピュータ」）→「ローカルディスク (C:)」→「Program Files」→「Roland VersaWorks」→「Swatch」→「Illustrator」の順にフォルダを開き、「Roland Metallic Texture System Library.ai」を選択する。

お使いのコンピュータの設定によっては「.ai」が表示されていないことがあります。

② [開く] をクリックする。

テクスチャパターンが入った専用ライブラリ「Roland Metallic Texture System Library」が開きます。

Tips!

手順 ❷ で選択した「.ai」ファイルを下記のフォルダに保存すれば、Adobe Illustrator のライブラリに専用ライブラリを登録できます。
C:¥Program Files¥Adobe¥Adobe Illustrator CS4¥ プリセット ¥ スウォッチ
（「C」はお使いのコンピュータのローカルディスク）
登録すると、Adobe Illustrator を起動するたびにファイルを探す必要がなくなり、スウォッチパレットメニューから直接ライブラリを開けるようになります。

2. イラストを作成し、使用したいテクスチャパターンを指定する。

❶ **イラストを作成する。**
イラストの描画は、必ず CMYK モードで行ってください。

❷ **テクスチャ印刷する場所に、使用したいテクスチャパターンを指定する。**
テクスチャパターンで指定した場所は、メタリックシルバーインクを使って印刷します。テクスチャ印刷以外でメタリックシルバーインクを使う場合は、別の専用スポットカラーを使用します。使用方法については、「第 2 章　準備編」を参照してください。

テクスチャパターンで印刷したい部分
⇨ Roland Metallic Texture System Library から「RTSL-MT-Standard-020」などを指定する。

※ Illustrator 上では、データ上にテクスチャパターン名称が表示されます。また、実際の印刷状態よりも粗く表示されます。

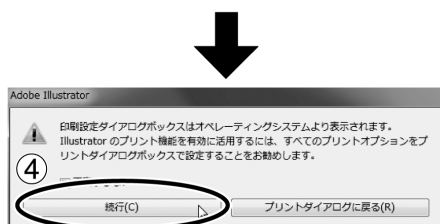
3. PS ファイルを作成する。

❶

①メニューから「ファイル」→「プリント」をクリックする。

②「Roland VW」を選択する。

③［プリンター］をクリックする。

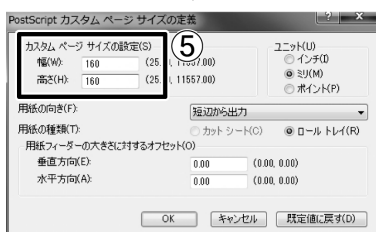
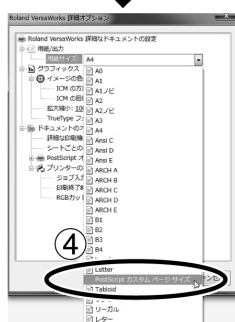
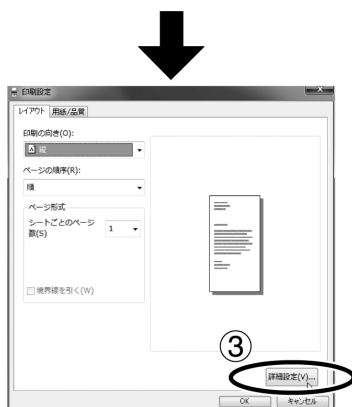
④［続行］をクリックする。

❷

①「ファイルへ出力」にチェックを付ける。

②［詳細設定］をクリックする。

③「レイアウト」タブ内の［詳細設定］をクリックする。
Windows 2000 の場合：「印刷」ダイアログ（このページの一番上の画面）の「レイアウト」タブで［詳細設定］をクリックする。

④「用紙サイズ」として「PostScript カスタムページサイズ」を選択する。

⑤「カスタムページサイズの設定」の「幅」と「高さ」の各欄をそれぞれ入力する。
手順 ***2.*** で作成したイラストと同サイズの数値を入力してください。

❸［OK］を 3 回クリックして、「PostScript カスタムページサイズの定義」、「Roland VersaWorks 詳細オプション」、「印刷設定」の各ダイアログを閉じる。
「印刷」ダイアログに戻ります。

4

①［印刷］をクリックする。

②［プリント］をクリックする。

5

① 保存先とファイル名を指定して、ファイルを保存する。

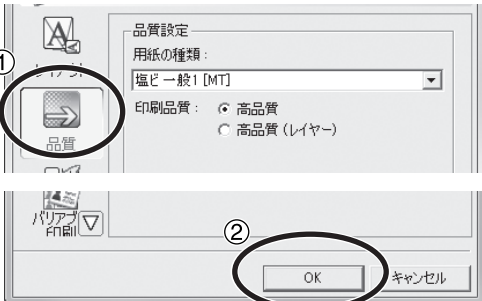
例：保存先フォルダ「TEX_print」、ファイル名「tex.ps」

②［保存］をクリックする。

指定したフォルダに PS ファイルが作成されます。

6 保存先のフォルダを開いて、ファイルが生成されていることを確認する。

テクスチャ印刷を行う

手順

❶ P. 42「テクスチャ印刷データを作成する」で作成した印刷データを用意する。

❷ VersaWorks でメタリックシルバーインクを出力できる設定をして印刷する。
メタリックシルバーインクを使用するには、VersaWorks の印刷モードで「CMYKMt」や「CMYKLcLmMt」などを選択する必要があります。設定方法の詳細は、「第 3 章　印刷編」を参照してください。

テクスチャチャートを印刷する

テクスチャチャートとは、テクスチャパターンの印刷見本です。テクスチャチャートを印刷することで、「お使いのプリンタ」と「お使いのメディア」で印刷できるテクスチャそのものが表現された「完全なテクスチャチャート」を確認できます（プリンタやメディアのコンディションによるわずかなパターンの差はあります）。このテクスチャチャートからパターンを選び、そのパターンを使用して印刷データを作成すれば、意図したパターンをほぼ正確に印刷できます。（ここでは VS-640 を使用した場合の画面で説明します。）

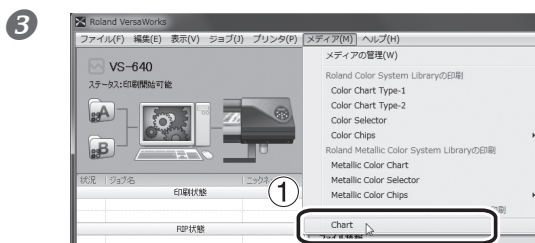
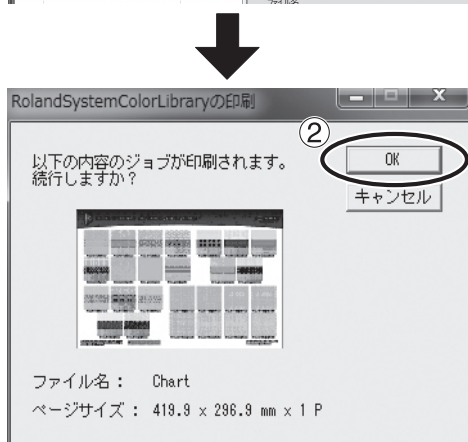
手順

❶ をダブルクリックする。
［A 入力のプロパティ］画面が表示されます。

❷ ① をクリックし、［品質設定］と［カラー設定］を設定する。

②［OK］をクリックする。

* テクスチャチャートの印刷では、［品質］の設定項目は［入力のプロパティ］画面の設定が適用されます。ジョブリストに追加された後では、［ジョブの設定］画面で設定を変更できませんので、必ず［入力のプロパティ］画面で［品質］の設定を実行してから以下の操作を実行してください。

❸

① メニューから［メディア］－［Roland Metallic Texture System Library の印刷］の下にある［Chart］をクリックする。

「以下の内容のジョブが印刷されます。続行しますか？」というメッセージが表示されます。 表示されているページサイズに対して、プリンタにセットされているメディアのサイズが十分かどうか確認してください。

② ［OK］をクリックする。
テクスチャチャートがジョブリストに追加されます。

❹

をクリックする。
テクスチャチャートが印刷されます。

※ テクスチャチャートは、テクスチャの下地に色が付いている部分があります。これは､テクスチャのデザインがわかりやすいようにするためのものです。

第5章
メンテナンス

5-1　メンテナンス

インク循環のメッセージ

本機では、インクの沈殿を防ぐためにホワイトインクおよびメタリックシルバーインクを定期的に循環させます。次のメッセージが表示されたら、表示が変わるまでお待ちください。
〔**インク　ジュンカン　シテイマス**〕

なお、上記のような自動メンテナンスを実施するために、次のことを守ってお使いください。
○メイン電源は常にオンにしておく。
○フロントカバーを長時間開いたままにしない。
○各種メニューの設定が終わったらトップ画面に戻す。

ドット抜けなどがどうしても直らない場合は

メタリックシルバーインクやホワイトインクは、長期間の放置などによってインクの吐出が不安定になる場合（ドット抜けなど）があります。これは、メタリックシルバーインクや、ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質があるために、長期間放置すると沈殿し成分が固まるためです。このような場合は、「インク　コウシン」メニューを実施してください。「インク　コウシン」メニューの操作方法はユーザーズマニュアルを参照してください。

☞**「ユーザーズマニュアル」（「ドット抜けがどうしても直らない場合は」）**

上記のクリーニングを行ってもドット抜けなどが直らない場合は、お買い上げの販売店または弊社にご連絡ください。